

宜野湾市教育委員会第6回（定例）会議録

教育長 _____

教育委員 _____

開催日時：平成28年5月11日 開会 15:00 閉会 16:58

開催場所：宜野湾市教育委員会 会議室

出席委員：知念 春美教育長、諸喜田 徹教育長職務代理者、宮城 邦子委員、
我謝 修委員、平良 明子委員

出席職員

【教育部】島袋清松教育部長、伊佐英明教育次長

（総務課）池原香代子総務係長

（生涯学習課）佐久原昇課長、前底悦子社会教育係長、瀬崎正敏公民館係長

【指導部】仲村宗男指導部長、桃原忍子指導次長

議事日程

1. 議案第18号：宜野湾市社会教育委員の委嘱について
2. 議案第19号：宜野湾市立中央公民館運営審議会委員の委嘱について

知念教育長	<p>皆様こんにちは。本日の出席委員は5名で定足数に達しております。ただいまから平成28年第6回宜野湾市教育委員会定期会を開会致します。本委員会で審議します案件は2件であります。</p> <p>休憩します。</p> <p>再開致します。</p> <p>宜野湾市社会教育委員の委嘱についての議題と致します。本件に対する担当者の趣旨説明を求めます。教育部長。</p>
島袋教育部長	<p>議案書綴りの表紙を含めて4ページになります。議案第18号宜野湾市社会教育委員の委嘱について。別紙の者を宜野湾市社会教育委員に委嘱したいので、宜野湾市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条第11号の規定により、教育委員会の議決を求める。平成28年5月11日提出 宜野湾市教育委員会 教育長 知念春美。</p> <p>提案理由でございます。宜野湾市社会教育委員の任期満了に伴い、社会教育法第15条第2項、及び宜野湾市社会教育委員に関する条例第3条の規定により社会教育委員を委嘱する必要があるためでございます。</p> <p>次ページをお願いいたします。宜野湾市社会教育委員の名簿案でございます。委嘱期間としましては、平成28年6月1日から平成30年5月31日までの2年の任期となります。委員は条例の第4条に基づき、8名の予定でございます。それでは、委員選考名簿案について、氏名、所属団体の名称、選出区分ごとに名簿案の順に沿ってご説明致します。なお、委員の敬称は省略させていただきます。まずお一人目です。宮城政一。元高等学校校長。選出区分が社会教育学校教育の関係委員になります。</p> <p>お二人目が佐久川紀成。元小学校校長で再任です。先ほどのお一人目と同じく社会教育学校教育の関係委員でございます。三人目の委員としまして、沖山サト。生涯学習コーディネーター再任で、社会教育委員の関係委員です。四人目は末吉斉。新任でございます。市子連会長、選出区分は社会教育部の関係委員になります。五人目は、田村尚。市PTA連合会会長で再任です。選考区分ですが、社会教育家庭教育の関係者としての委員となります。六人目が波平道子。市婦人連合会会長。新任でございます。社会教育、家庭教育の関係委員でございます。七人目が天久武信。普天間小学校校長。新任でございます。学校教育の関係委員として市校務研からの推薦でございます。最後の八人目は、新城嘉隆。野嵩一区自治会長。新任でございます。社会教育関係委員として選考でございます。以上、八名の選考委員予定者の名簿となります。次の3ページは、左側が現在の社会教育委員の名簿で、右側に今回新たな委員名簿案を表示して、新旧対照の名</p>

	<p>簿表をとして添付しておりますのでご参照いただきたいと思います。最後になりますけど、議案資料の1ページをご覧ください。社会教育委員の選考基準としましては、学校教育の関係委員としましては、市校務研から推薦された委員としております。社会教育や家庭教育の関係委員としましては、社会教育団体の代表者を充て職として選任しておりますが、本資料1番目の宮城政一様。2番目の佐久川紀成様。3番目の沖山サト様につきましては、現在どの関連団体にも所属しておりませんが、これまでの活動や功績などを評価して、再任委嘱の案となっております。議案書と合わせてこの資料もご一読していただけたらと思います。以上が議案第18号の宜野湾市社会教育委員の委嘱についての説明になりますので、ご審議の程よろしく願いいたします。</p>
<p>知念教育長</p>	<p>ありがとうございます。本件に対する質疑を許します。質疑のある方は挙手をお願い致します。</p>
<p>諸喜田教育委員</p>	<p>3ページ、新旧対象についてですが、喜屋武悦子先生が27年となっていて、任期は2年ですが、なぜ1年で終わりなのでしょう。</p>
<p>島袋教育部長</p>	<p>左側が現在の社会教育委員の名簿です。7番目の喜屋武悦子校長先生は、市校務研の推薦委員で学校教育関係について選任しています。校務研からの輪番制であり、新たに天久武信先生が推薦されて社会教育委員として推薦をされています。</p>
<p>諸喜田教育委員</p>	<p>2年ではないですね。</p>
<p>島袋教育部長</p>	<p>基本的には市の規則の中では2年でございますけども校務研は1年です。</p>
<p>伊佐教育次長</p>	<p>議案資料2ページをご覧ください。その中に校務研の各学校校長先生の役割分担がございますのでご参照ください。</p>
<p>宮城教育委員</p>	<p>よくわからないのですが、社会教育委員というのは定期的に、例えば社会教育委員の集まりを持って、今の宜野湾市の社会教育委員の話とか、取り組みとか、そういうのをなさっているのでしょうか。この辺がちょっと見えない。社会委員の動きが。</p>

前底社会教育係長	27年度につきましては、5回ほど会議を持ちまして審議等を行っております。昨年度は5回です。今年度の報償費は5回ほど予算を計上しております。
宮城教育委員	これはちょっと意見なんですけど、5回ほど会議をもっていらっしゃるということであれば、すごくいいことだと思いますし、会議の中にぜひ盛り込んだ方がいいと思う事があるのです。今、県の取り組みで「やーなれー運動」というのがあって、宜野湾市の取り組みをちょっと見てみたら、各個人の団体が、直接、県と連携を取りながら指導員という変なのですが、お呼びして挨拶のことなど活動をしているところがあるのです。皆さんご存知だと思いますが、そういうことを話題にあげて、社会教育委員会が進めるのか、あるいは学校に任せるとかちょっとよく分からないんですけど、こういった形で進めていけばうまく彼らを活用できるのかなっていう思いがあります。実は宜野湾市で活用しているのが、昨年度の実績からいうと一つの団体だけなんです。宜野湾市内から退職校長が一人委員にもなっているんです。宜野湾市の担当ではありませんが、多和田文子先生です。島尻地区担当っておっしゃっていたんですけど、すごく力をいれていて、この「やーなれー運動」をしていて、これは社会教育の取り組みですかね。それとも、どこの取り組みかよくわからないんだけど。
平良教育委員	県の教育委員の集まりの時に宣伝されていましてね。ぜひ活用してくださいと。
伊佐教育次長	社会教育について、皆様よく御存じだと思いますけれど、位置づけ的には、生涯学習課の事業があって社会教育団体の活動状況に対してのアドバイス、そういったことはやっていたと思います。後は教育委員会からの諮問によってですね、委員会に対してのアドバイス、そういったこともできるということです。3年前に今まで教育委員と社会教育委員の間に交流がなかったということで交流会をしましたよね。今後もやりましようとしていましたが、当時は仲宗根議長が中頭の委員長になるという事で、かなり難しかったみたいです。なかなかできなかったのですが、先ほどの社会教育団体でありますPTA、婦人会と、そういった団体と「やーなれー運動」も生涯学習課、社会教育委員会の方でも取り組んでいこうとしております。おっしゃるように多和田文子先生は県の家庭学習支援員ですので、連携を取ってやっていけたらと思っています。

知念教育長	了解しました。ありがとうございます。他に質疑はございますでしょうか。それでは質疑も尽きたようですのでこれで質疑を終わりたいと思います。ご異議がありませんでしょうか。
全員	一同異議なし
知念教育長	ご異議もありませんので質疑はこれにて終了致します。 これより宜野湾市社会教育委員の委嘱について、を採決致します。本件は原案のとおり承認することにご異議はありませんか。
全員	一同異議なし
知念教育長	ご異議ありませんので本件は原案のとおり承認されました。これにて宜野湾市社会教育の委嘱について、を終了致します。
知念教育長	続きまして、日程 2 宜野湾市市立中央公民館運営審議会委員の委嘱について、を議題と致します。本件に対する担当者の趣旨説明を求めます。教育部長。
島袋教育部長	それでは議案書綴りの 4 ページをお開きください。議案第 19 号宜野湾市立中央公民館運営審議会委員の委嘱について。別紙の者を宜野湾市立中央公民館運営審議会委員に委嘱したいので、宜野湾市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第 2 条第 11 号の規定により、教育委員会の議決を求める。平成 28 年 5 月 11 日提出 宜野湾市教育委員会 教育長 知念春美。 提案理由でございます。宜野湾市立中央公民館運営審議会委員の任期満了に伴い、宜野湾市立中央公民館の設置、管理及び職員に関する条例第 4 条第 2 項及び、宜野湾市立中央公民館運営審議会規則第 3 条の規定により中央公民館運営審議会委員を委嘱する必要があるためでございます。 5 ページをお開き下さい。宜野湾市立中央公民館運営審議会委員の名簿案でございます。委嘱期間は、平成 28 年の 6 月 1 日から平成 30 年 5 月 31 日までの 2 年の任期でございます。委員の定数は条例第 4 条第 3 項の規定によって、12 名以内となっておりますので、これまで同様の 10 名の委員の選考案でございます。それでは、委員選考名簿案について、氏名、所属団体の名称、役職、選出区分について、順に沿って、紹介致します。なお、委員の敬称に

<p>知念教育 長 平良教育</p>	<p>については省略させて頂きたいと思います。</p> <p>それではお一人目が、比嘉秀雄。宜野湾市立長田小学校元校長先生です。選出区分としては学識経験者の委員になります。新任です。お二人目は、多和田文子。宜野湾市立志真志小学校元校長先生です。現職は県学振課子ども支援員でございます。選出区分としましてはお一人目の委員と同様ですが学識経験者委員です。三人目です。上江洲隆。宜野湾市校務研究会。普天間中学校校長先生です。選出区分としましては学校教育関係委員です。四人目が目取真淳。宜野湾市校務研究会。大山小学校校長。学校教育関係委員でございます。五人目は前田美恵子。宜野湾市婦人連合会副会長でございます。社会教育関係委員です。六人目でございます。崎山和子。宜野湾市青少年健全育成協議会事務局長。家庭教育関係委員でございます。七人目です。末吉斉。宜野湾市子ども育成者連絡協議会。会長で家庭教育関係者委員でございます。八人目。渡名喜庸松。宜野湾市自治会長。普天間三区自治会長であり、選出区分としましては社会教育関係者委員でございます。九人目、金良侑子。宜野湾市立中央公民館サークル連絡協議会会長でございます。選出区分は社会教育関係者委員でございます。最後の十人目になりますけど、沖山サト。宜野湾市立中央公民館サークル連絡協議会会長でございます。26年度の会長です。選出区分としましては社会教育関係委員としての選考でございます。以上10名が委員予定者の名簿となります。次の6ページは先ほどの議案と同様に、左側に現在の中央公民館運営審議会委員の名簿になります。右側が新たな委員名簿案になりますのでご参照ください。最後に本日お配りしております一枚刷りの議案資料をご覧ください。中央公民館審議会委員の、選考基準につきましても、先ほどの社会教育委員の選考基準同様に、学校教育の関係の委員としましては市校務研究会からの推薦委員としております社会教育あるいは家庭教育関係委員としましては、社会教育関連団体の代表者を充て職として選考しておりますけど、ペラの資料ですけど、中断の表に記載しております、比嘉秀雄様と多和田文子様につきましては、現在どの関連団体にも所属しておりませんが、これまでの活動あるいは功績のある人として、選出区分を学識経験者の委員として選考してございますので、この資料と併せてご一読いただければと思います。以上が議案第19号の宜野湾市中央公民館運営審議会委員の委嘱についての説明になります。後は質疑にお答えしたいと思いますのでご審議の程宜しくお願いします。</p> <p>本件に対する質疑を許します。質疑のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>教えて頂きたいのですが、中央公民館運営審議会委員の名簿を頂いて、</p>
----------------------------	---

委員	再任の方が何人かいらっしゃるのですが、前の社会教育委員では何年から の任期かがわかるんですが、こちらで見えないんですが長くされている方 っていらっしゃるんでしょうか。
瀬崎公民館 係長	中央公民館の係長をしております瀬崎と申します。こちらに書いている 再任というのに関して、7番の末吉委員は2年目。それから資料訂正して 頂きたいんですけど、10番の沖山サト委員ですね、再任になりまして2 年目になります。1番長いのが、6番の青少協の事務局をやっていたい ている、崎山和子委員ですね。こちらは9年目となっております。
平良教育 委員	平成19年からされているということ。
瀬崎公民館 係長	そうですね。
島袋教育 部長	先ほどの議案書の10番目の委員の沖山サトさん選出区分の方が新任になっ ておりますけど、再任ということですよ。訂正をお願いします。
我謝教育 委員	委員の定数は12人以内ですよ。毎回10人ですが。根拠があるのですか。 あと二人増やさない理由です。
瀬崎公民館 係長	過去の経緯を辿ると8名という時代もかなり長く続いておりまして、途中で 9名に増えているんですけど、選出区分に前は宜野湾市の部長級が入っていた り、市老連の代表が入っていたり、市議会委員の方が入っていたりしてい たんですが、青少協とか市子連が入ってから選出区分が一変しているよう で、26年度に、前教育長から利用者の声をもっと聴いた方がいいんじゃないか、 ということでサークル連絡会の方から1名追加し9名からその時10名にな っております。特に他2名というのは、私たちとしてはもう少し若者の声も聴 きたいと思っていますので、青年連合会の代表者を入れたいという希望はあ ります。
我謝教育 委員	12名でありながら10名で、一時期は8名だったのが9名。先ほど私が言 いたいのそこですよ。10名見るとみんな歳をめされていますね。大変失礼で すが。だから若手の方の活動など、その点で10名が妥当なんですかと いうことですよ。12名で新たな観点、見方ですよ。校長先生にお願いでき ませんかと言うのではなく。やはり12名であれば12名ぴったり、他所 からも色々青年部とかね、例えば宜野湾商工会とかいろんな組織があ りますよね、その

	<p>方々のできれば、新たな観点というんですかね、これが出るかなというふうに思います。だからいつも 10 名で止まるのがちょっと気になったものですから。以上です。</p>
佐久原生涯学習課長	<p>今後の推薦について以降は 10 名以上になるように、29 年 30 年までに向けて市青年連合会と協議をしながらやっていきたいと。あとは予算の関係もありますから、次年度に向けて調整していきたいと思います。</p>
我謝教育委員	<p>失礼ですが予算は 12 名分の予算を組んであるわけでしょう。12 名以内というふうに書いているんだったら 12 名の予算を組まないといけないわけでしょう。予算の問題じゃないですよ。10 名で予算が余っているということですよね。12 名なら 12 名きちっと予算を組んでください。</p>
島袋教育部長	<p>先ほど担当課長から話がありましたように、予算は予算で 12 名以内と定員があるように組まないといけないと思います。今後もっと取組が充実強化できるように担当課と調整して取り組んでいきたいと思っています。</p>
宮城教育委員	<p>過去何回か私も中央公民館祭りに参加させていただきました。昨年も参加をしています。すごく楽しい色んな取り組みがあつて、こういう風なところに関わっている市民は元気だなと、私はゆし豆腐食べたかったですけど、ゆし豆腐が固まらなくて帰ったんですけどね、すごく色んな取組があつていいなって思います。</p> <p>おそらくはこの中央公民館運営審議会というところで、今年度の中央公民館の様々な行事をどのようにしていこうか。どのようなサークルを立ち上げてとかしていこうかと、色んな話し合いをここではしていると思うんです。</p> <p>これが主な大きな仕事かなと、この方々のね。私はそこの会議に参加した事なく、本当に外部から成果を見に行っているという状況ではあるんですけど、これからもずっと長く続いて欲しいという意味もあるんですが、新しく活動をしたい人の希望をどのように取り入れているのかという話を聞きたいです。サークルでもいいですし、これは広報ですかね。</p>
知念教育長	<p>既成のサークル以外の新規の事がどうなっていますかっていうことですよね。</p>
瀬崎公民館係長	<p>まずサークルについてです。今までは年度末、4 月からであれば 2 月いっぱい募集をして、部屋割り対応して決定していたんですけど、私たちも途中か</p>

	<p>らやりたいという方がいらっしゃった場合は、年度途中からでもサークル登録という、うちの登録条件を満たしていれば登録する事で取組をして、要綱的な改正を整えてできるよう門戸を開いております。講座については色々ニーズというのがあると思います、民間のやっている講座というのがありますよね。例えばパソコンとか民間の方がお金を取って仕事としてパソコン教室をやっている。そこに私たちが10回講座を無料でやっていた場合は、その人たちの首を絞めてしまう事になってしまう。あくまでも私たち生涯学習はきっかけづくり、それからの繋ぎ。繋ぐという事を意識してやっている状態ではありますので、もしそういう希望があれば、うちの社会教育委員との勉強会講座企画しております、嘱託で週3日6時間の勤務ってなっているんですけど、中頭社会教育指導委員、県社会教育指導委員連絡協議会っていうのがあります、こちらの方で集まって勉強会していただいておりますので、その方たちと館長も交えて講座の事に関しては早めに対応させていただいておりますので、ニーズがあれば講座についてはやっていきたいと思います。</p>
<p>宮城教育委員</p>	<p>市民がこのような活動をしたってということ、これもニーズだと思いますけど、それを受け止めて、説明をしてですね、出来るような形でしていただけたらすごくいいなって思うんですね。実は今回私の知り合いがボイストレーニングの講座を是非立ち上げたいと、講師はこういう方ですと。去年の早い段階から皆さんの所へ要望を出していたらしいんですね。今年度が始まったところで出来なくなったんだけどということで、「私は繋ぐことはできるけども自分が直接動くことは難しいですよ。」と話はしていたので、繋いだつもりではあったんですよ。で、それがなかなか他の音楽サークルと似通っているということで今回はそれができないう形になったんですけど、この辺はやはり内容はしっかり精査して、同じものなのか違う物なのか明確に判断したほうが市民のニーズを捉えていることになるんじゃないかなって印象をちょっと持ったんですね。是非、今回は予算がつくとかそういうふうなこともあったらしくて、私は予算がつくとか思っていなかったんですよ。講座に対して、この予算はほとんど講師料に使われているというような話を聞いたんですけども、今年度は無料、ようするに講師料の無い形でできる。あるいは次年度はそれを繋げていくって報告をもらったんですけどね。是非市民のそういう声を出来るだけ取り上げて、実施できるような形が望ましいかなって、お話し聞きながら思いましたのでよろしくお願ひしたいと思います。以上です。</p> <p>他にございますでしょうか。それでは質疑も尽きたようですので質疑を終わりたいと思いますがご異議はありませんでしょうか。</p>
<p>知念教育</p>	

<p>長 全員</p>	<p>一同異議なし</p>
<p>知念教育 長</p>	<p>ご異議はありませんので質疑はこれにて終了いたします。 これより宜野湾市立中央公民館運営審議会委員の委嘱について、を採決いたします。本件は原案のとおり承認をすることにご異議ありませんか。</p>
<p>長 全員</p>	<p>一同異議なし</p>
<p>知念教育 長</p>	<p>ご異議ありませんので本件は原案のとおり承認されました。 これにて宜野湾市立中央公民館運営審議会委員の委嘱について、を終了いたします。 最後に、本日審議いたしました議案等の字句の訂正等につきましては教育長委任としてもよろしいでしょうか。</p>
<p>長 知念教育 長</p>	<p>一同異議なし</p> <p>以上をもちまして本委員会に付議されました案件の審議は終了いたしました。お疲れ様でした。</p>